



「多言語生活情報」 スマートフォンアプリを配信中！

(一財)自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課

スマートフォンアプリを開発

クレアでは、日本に暮らす外国人住民に向けて、多言語による情報提供をホームページなどで積極的に行っています。このたび、より多くの外国人住民に利用していただける多言語ツールとして、新たに外国人住民向け生活ガイド「多言語生活情報」のスマートフォンアプリ版「多言語生活情報 Japan Life Guide」を開発しました。2014年3月より、AppStoreおよびGooglePlayにて無料で配信を行っており、iOSおよびAndroidの対応スマートフォン・タブレット端末をお持ちの方は、だれでも簡単に利用することができます。

アプリ版の特徴

多言語生活情報はクレアのホームページ上 (<http://www.clair.or.jp/tagengo/index.html>) で外国人住民が日本で生活するために必要な情報を13言語で提供しているものです。「在留資格」、「住まい」、「教育」、「医療」、「緊急・災害時」など外国人住民が日本で生活するうえで必要な情報について、各言語17項目400ページ以上にわたり、図やフローチャートを使い、分かりやすく説明しています。全国の自治体や関係機関の窓口やホームページなどでも広くご紹介いただいております。2013年度は約256万件のアクセスがありました。

今回のスマートフォンアプリは、この多言語生活情報の中から必要性の高い情報を選定しコンパ

クトに凝縮、iOSおよびAndroid端末用にわかりやすい形で再編集したものです。最も身近な情報ツールであるスマートフォンやタブレットを使って、日本での生活に必要な情報を自分の言語で知ることができます。アプリ内にデータを内蔵していますので、利用者がどこにいても、電波が届かない場所でも必要な情報を即座に閲覧することができます。

一般的なほかのアプリと同様に、タップ操作やフリック操作を使って直感的に操作が行えますので、インストールすればすぐに使いこなすことが可能です。外国人住民の方が直接利用するだけでなく、該当する言語の画面を指さすことで、外国人住民の周囲の方々が情報を提供することもできます。なお、アプリ内にはホームページ版データへのリンクも用意してありますので、アプリ内でホームページ版の情報を閲覧することもできます。

また、本アプリは、生活情報だけでなく、災害情報機能も備えています。気象庁より、日本国内で震度5弱以上の地震が予測された場合に提供される緊急地震速報が発信された際は、直ちに発生日時、震源地、予想される最大震度を13言語で自動翻訳し、アプリ内で表示します。強い揺れがあった場合に、日本語が十分でない外国人住民の方でも即座に地震の発生状況を確認することができますので、災害時にも役立ちます。

人と支援と地域をつなぐ

クレアでは、多言語生活情報のほかにも、避難所などで掲示する文字情報の作成が行える「災害時多言語情報作成ツール」や、平時のうちから避難所運営について考える「災害時の多言語支援の手引き」など、全国の自治体や地域国際化協会の方々に広く利用していただける共通ツールをホームページで多数提供していますので、ご活用ください。

多文化共生社会の進展や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催、また大規模災害発生時の備えとして、多言語による情報発信の必要性は今後ますます高まります。クレアでは今後も、多言語生活情報の「やさしい日本語版」を作成するなど、多言語情報ツールを充実させていきたいと考えています。

今回の多言語生活情報アプリは、外国人住民の方が直接利用できるものになっていますので、周りで暮らす外国人住民の方々に、ぜひダウンロードを勧めてください。